

三条商工会議所景況調査概況

【2019年4月～6月期】

日本商工会議所が全国の商工会議所ネットワークを活用して、各地域での「肌で感じる景況感」（早期景気観測調査＜LOBO調査＞）を毎月集計した2019年6月の結果と、三条商工会議所で3ヶ月毎に会員事業所にアンケート調査を行った最近の業況をまとめた資料です。

- 調査対象：＜全国＞全国339商工会議所が2,656企業にヒアリング。回答数1,975件
＜三条地域＞会議所会員事業所400社を対象にアンケート調査。回答数213件
- DI値＝（増加・好転などの回答割合）－（減少・悪化などの回答割合）
従業員DIは（不足とする回答割合）－（過剰とする回答割合）

【全国の業況】

6月の全産業合計の業況DIは、▲18.3(前月比▲1.2ポイント)

インバウンド需要の堅調な動きに加え、都市部の民間工事を中心とする建設業が底堅く推移する一方、深刻な人手不足による受注機会の損失や人件費・外注費の増大、根強い消費者の節約志向、原材料費の高止まりによる収益圧迫が広く業況の押し下げ要因となった。また、米中貿易摩擦の影響に伴う半導体や産業用機械、自動車関連の不振や、世界経済の先行き不透明感の広がりを指摘する声は依然として多く聞かれ、中小企業の景況感には足元で鈍さが見られる。

先行きについては、先行き見通しDIは、▲19.5(今月比▲1.2ポイント)

個人消費の拡大やインバウンドを含む夏の観光需要拡大への期待感がうかがえる。他方、人手不足の影響の深刻化や、原材料費の上昇、コスト増加分の価格転嫁の遅れ、貿易摩擦の激化、世界経済の動向、消費税上げの影響など不透明感が増す中、中小企業においては、先行きへの慎重な姿勢が続く。

全国の6月産業別業況

【建設業】

「住宅リフォーム用の補助金制度を営業ツールとして活用し、顧客に案内しており売上は増加している。しかし、原材料の仕入価格や人件費上昇の負担は大きく、採算の確保に難航している」（建築工事業）、「現場を管理する技術者の不足は受注件数に直結する問題であり、最大の懸念材料となっている。作業員の高齢化も進んでおり、受注案件を絞り込まざるを得ず、売上が伸び悩んでいる」（一般工事業）

【製造業】

「取引先メーカーにおいても対中輸出が減少しており、米中貿易摩擦の影響が見られる。建機用の部品の動きが昨年に比べ明らかに悪化しており、売上高の前年割れは避けられない。イギリスのEU離脱などのヨーロッパ情勢を含め、今後の動向を注視している」（計量器測定器等製造業）、「米中貿易摩擦により完全に潮目が変わった。既存業界とは異なる新分野への取組みを積極的に進めており、売上確保につなげたい」（金属加工機械製造業）

【卸売業】

「消費者の節約志向を背景に、食料品等の引き合いが鈍い。仕入れ価格や人件費、運送費などあらゆるコストが上昇しているが、販売価格への転嫁は難しく、収益は悪化している」（飲食料品卸売業）、「廃プラスチック輸入規制の影響を大きく受ける業界であり、売上・採算ともに悪化している。先行きも非常に厳しく、予定していた設備投資を見送る可能性も出てきた」（再生資源卸売業）

【小売業】

「ゴールデンウィーク後の反動減を懸念していたが、爆買い傾向は収束したものの引き続き堅調なインバウンド需要により売上は増加した。働き方改革による消費者のライフスタイルが変化したのか、夜遅い時間帯の集客に苦戦するようになった」（各種商品小売業）、「消費者の財布のひもは堅く、中元商戦は苦戦しているが、後半戦に期待している。また、今年は消費税引上げ前にボーナス商戦を迎えるため、高額品の需要増の取り組みを図る」（百貨店）

【サービス業】

「インバウンド需要は堅調で、中国からの個人客やヨーロッパ方面からの観光客が昨年よりも増加している。今後に向けて新規設備投資を計画しており、消費税引上げ前にPOSレジを導入する予定」（公園・遊園地）、「ドライバー不足は依然として深刻であり、受けられない依頼も多い。料金改定を進めてはいるが大きな売上増にはつながらず、採算確保に難航している。今後の輸送力維持のため、人手不足解消に向けた早急な取り組みが課題である」（運送業）

【三条地域の業況】

（※三条地域の詳細データにつきましては、当所ホームページをご参照ください。）

<http://www.sanjo-cci.or.jp>

当地域の全業種合計の業況DIは、平成30年度第1四半期(H30年4～6月)比(以後前年同期比という)では▲19(前期差12ポイント減)となった。業種別では、建設業が▲28(前期差5ポイント減)、製造業が▲9(前期差9ポイント減)、卸売業が▲30(前期差30ポイント減)、小売業が▲24(前期差1ポイント減)、サービス業が▲17(前期差11ポイント減)となった。前回調査に比べ、全業種でDI値が減少で推移した。

三条地域の業種別概況

【建設業】

建設業では、前年同期比の業況DIは▲28(前期差5ポイント減)、採算DIは▲31(前期差4ポイント減)、売上額DIは▲41(前期差28ポイント減)、従業員DIは+10(前期差3ポイント増)となり、従業員DIは増加したが、業況DI、採算DI、売上額DIは減少で推移した。

【製造業】

製造業では、前年同期比の業況DIは▲9(前期差9ポイント減)、採算DIは▲14(前期差12ポイント減)、売上額DIは▲9(前期差8ポイント減)、従業員DIは+15(前期差7ポイント増)となり、従業員DIは増加したが、業況DI、採算DI、売上額DIは減少で推移した。

【卸売業】

卸売業では、前年同期比の業況DIは▲30(前期差30ポイント減)、採算DIは▲14(前期差3ポイント増)、売上額DIは▲25(前期差19ポイント減)、従業員DIは±0(前期差17ポイント減)となり、採算DIは増加したが、業況DI、売上額DI、従業員DIは減少で推移した。

【小売業】

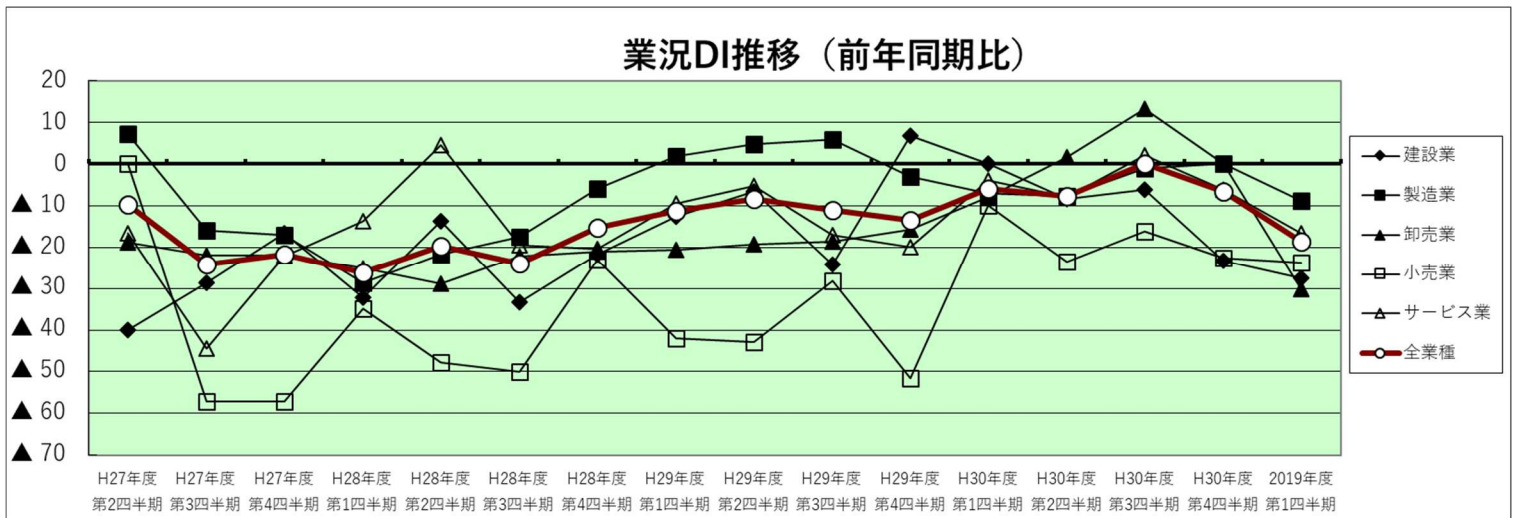
小売業では、前年同期比の業況DIが▲24(前期差1ポイント減)、採算DIは▲19(前期差4ポイント増)、売上額DIは▲5(前期差21ポイント増)、従業員DIは+32(前期差42ポイント増)となり、採算DI、売上額DI、従業員DIは増加したが、業況DIは減少で推移した。

【サービス業】

サービス業では、前年同期比の業況DIは▲17(前期差11ポイント減)、採算DIは▲14(前期差12ポイント減)、売上額DIは▲17(前期差25ポイント減)、従業員DIは▲3(前期差6ポイント増)となり、従業員DIは増加したが、業況DI、採算DI、売上DIは減少で推移した。

三条地域の業況 DI(前年同期比)の推移 ※DI 値＝「良いとする回答割合」-「悪いとする回答割合」

	H27 年度			H28 年度				H29 年度
	第 2 四半期	第 3 四半期	第 4 四半期	第 1 四半期	第 2 四半期	第 3 四半期	第 4 四半期	第 1 四半期
全業種	▲ 10	▲ 24	▲ 22	▲ 26	▲ 20	▲ 24	▲ 15	▲ 11
建設業	▲ 40	▲ 29	▲ 17	▲ 32	▲ 14	▲ 33	▲ 22	▲ 13
製造業	7	▲ 16	▲ 17	▲ 29	▲ 22	▲ 18	▲ 6	2
卸売業	▲ 19	▲ 22	▲ 22	▲ 25	▲ 29	▲ 22	▲ 21	▲ 21
小売業	0	▲ 57	▲ 57	▲ 35	▲ 48	▲ 50	▲ 23	▲ 42
サービス業	▲ 17	▲ 44	▲ 22	▲ 14	5	▲ 20	▲ 20	▲ 9
	H29 年度			H30 年度				2019 年度
	第 2 四半期	第 3 四半期	第 4 四半期	第 1 四半期	第 2 四半期	第 3 四半期	第 4 四半期	第 1 四半期
全業種	▲ 8	▲ 11	▲ 13	▲ 6	▲ 8	0	▲ 7	▲ 19
建設業	▲ 7	▲ 24	7	0	▲ 8	▲ 6	▲ 23	▲ 28
製造業	5	6	▲ 3	▲ 7	▲ 8	▲ 1	0	▲ 9
卸売業	▲ 19	▲ 19	▲ 16	▲ 8	2	13	0	▲ 30
小売業	▲ 43	▲ 28	▲ 52	▲ 10	▲ 24	▲ 16	▲ 23	▲ 24
サービス業	▲ 5	▲ 17	▲ 20	▲ 4	▲ 8	2	▲ 6	▲ 17

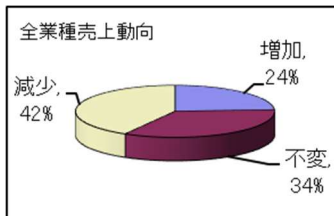


2019年度 第1四半期(2019年4月～6月)

※四捨五入の関係上百分率の合計が合わないことがあります。

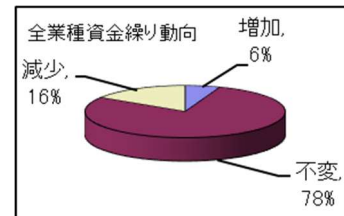
業種別売上動向（前年同期比）

業種		増加	不変	減少
全業種	件数	52	74	90
	%	24%	34%	42%
建設業	件数	3	11	15
	%	10%	38%	52%
製造業	件数	25	23	32
	%	31%	29%	40%
卸売業	件数	7	19	18
	%	16%	43%	41%
小売業	件数	7	6	8
	%	33%	29%	38%
サービス業	件数	10	15	17
	%	24%	36%	40%



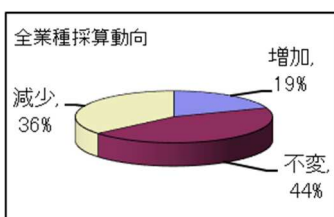
業種別資金繰り動向（前年同期比）

業種		好転	不変	悪化
全業種	件数	12	167	34
	%	6%	78%	16%
建設業	件数	1	27	1
	%	3%	93%	3%
製造業	件数	5	65	10
	%	6%	81%	13%
卸売業	件数	2	38	4
	%	5%	86%	9%
小売業	件数	0	14	5
	%	0%	74%	26%
サービス業	件数	4	23	14
	%	10%	56%	34%



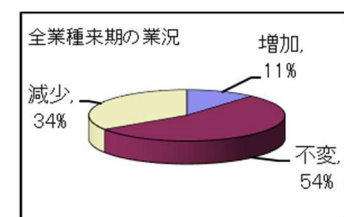
業種別採算動向（前年同期比）

業種		良い	普通	悪い
全業種	件数	42	96	78
	%	19%	44%	36%
建設業	件数	2	16	11
	%	7%	55%	38%
製造業	件数	18	33	29
	%	23%	41%	36%
卸売業	件数	8	22	14
	%	18%	50%	32%
小売業	件数	3	11	7
	%	14%	52%	33%
サービス業	件数	11	14	17
	%	26%	33%	40%



業種別来期(2019.7～9月)の業況(今期比の見通し)

業種		良い	普通	悪い
全業種	件数	20	95	60
	%	11%	54%	34%
建設業	件数	0	15	9
	%	0%	63%	38%
製造業	件数	10	37	20
	%	15%	55%	30%
卸売業	件数	2	17	17
	%	6%	47%	47%
小売業	件数	1	10	2
	%	8%	77%	15%
サービス業	件数	7	16	12
	%	20%	46%	34%



日本商工会議所の全国の業況、三条地域の業況の詳細データにつきましては、当所ホームページをご参照ください。
<http://www.sanjo-cci.or.jp>